

第 24 回 圧迫性脊髄症研究会

日時：2023 年 3 月 25 日 (土) 12:30 ~ 17:05

会場：ウインクあいち 大会議室 1001

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

開催形式：①現地参加 ② Zoom によるオンライン参加

参加費：現地参加 3,000 円

※オンライン参加および、午前中の Seminar for Safe Cervical Surgery の参加者の聴講は無料

オンライン参加者は、下記 URL 又は 2 次元コードより登録、アクセス下さい。

URL https://asahi-kasei.zoom.us/webinar/register/WN_-ljUPbzfSQ-75kvkY4dMnA



二次元コードからも登録が可能です。

第 24 回 圧迫性脊髄症研究会開催にあたって

この度、第 24 回圧迫性脊髄症研究会を開催させていただくことを大変光栄に存じます。

今回の研究会開催にあたっての経緯を説明させていただきます。昨今の学会統合の流れとこれまで長年後援していただいた企業の撤退があり、本研究会の役目を終えるかどうかについて議論がありました。前回の研究会時に参加者に行ったアンケートによると本会の存続を願う声が多くあり、研究会を存続させる道を探りました。このような経緯で、本年は NPO 法人国際頸椎学会日本機構 (JCSS) 主催の "Seminar for Safe Cervical Surgery 2023" と同日に名古屋で開催する運びになりました。来年以降の開催都市につきましては改めて決定いたします。

本研究会は、脊髄症の病因、病態を深く議論できる特色ある会です。今回、主題を「様々な要因による慢性脊髄障害」と致しました。希少ですが治療に難渋する様々な症例の経験を共有し、皆でディスカッションしたいと考えております。会長ミニレクチャーでは、私が経験した髄膜病変の病態と手術についてお話しさせていただきます。脊髄を取り囲む髄膜には、腫瘍、脊髄肥厚性硬膜炎、癒着性くも膜炎、arachnoid web、脊髄ヘルニア、perineural cyst など神経症状を来す多くの病態が発生します。ご聴講いただければ幸いです。

本研究会はハイブリッドで開催いたします。現地で、また、ご自宅・勤務先から気軽にご参加いただければ幸いです。

会長 小澤 浩司
(東北医科薬科大学 整形外科)

演者・座長の先生へ

発表時間：発表時間を演題名の横に記載しております。討論時間は 4 分を予定しています。発表時間を厳守いただきまして、円滑な会の運営と実りある討論ができますようにご協力をお願いします。

お問合せ窓口：旭化成ファーマ株式会社 森本 隼平

Mail：morimoto.jf@om.asahi-kasei.co.jp TEL：052-262-4513

共催：圧迫性脊髄症研究会 / 旭化成ファーマ株式会社

※ 研究会終了後に Seminar for Safe Cervical Surgery 2023 と合同主催で懇親会（～20 時頃まで）を予定しております。どうぞ奮ってご参加ください。会場の準備の都合上、参加いただける方は下記までご連絡をお願いします。当日の申し込みも可能ですが、できるだけ 3 月 10 日までにお願いします。

東北医科薬科大学病院整形外科 加藤慶彦

E-mail：z385414@gmail.com

第 24 回 圧迫性脊髄症研究会 プログラム

12:30 ～ 13:00 ランチョンセミナー

座長：東北医科薬科大学 整形外科 小澤 浩司

「 脊柱再建術における骨粗鬆症治療の役割 」

演者：名古屋大学大学院医学系研究科 整形外科 中島 宏彰

13:10 ～ 13:15 開会の辞 会長 東北医科薬科大学医学部 整形外科 小澤 浩司

13:15 ～ 14:10 「非典型的脊髄障害」

座長：筑波大学 整形外科 国府田 正雄

1. 長期にわたる原因不明の左下肢痛を主訴とした頸髄腫瘍の 1 例 (5 分)

参宮橋脊椎外科病院 整形外科¹⁾、川口市立医療センター整形外科²⁾、日本大学病院整形外科³⁾
網代泰充 (あじろやすみつ)¹⁾、大島正史²⁾、上井浩³⁾

2. 脊髄異型性髄膜腫の 3 例 (6 分)

新潟大学 整形外科 田中裕貴 (たなかゆうき)、渡辺慶、大橋正幸、田仕英希、牧野達夫、湊圭太郎、花房繁寿

3. 胸腰椎に多発した giant calcified herniated thoracic discs の一例における病態の考察 (5 分)

東京医科歯科大学 整形外科 江川聡 (えがわさとる)、吉井俊貴、平井高志、猪瀬弘之、松倉遊、歌川蔵人、橋本淳、上杉豪、田村友里、石塚光悦、大川淳

4. Brown-Sequard 症状を呈した特発性脊髄ヘルニアの 1 例 (5 分)

みゆき会病院整形外科 山形脊椎センター 嶋村之秀 (しまむらゆきひで)、武井寛、鈴木智人

5. 強直性脊椎炎に合併した脊髄ヘルニアの 1 例 (5 分)

済生会川口総合病院 整形外科 友利正樹 (ともりまさき)、坂井顕一郎、鳥越一郎、榊経平、小沼博明、小林裕、梶原健嗣、華山博翔、榊本悠輔、新井嘉容

6. 頸胸椎後方除圧術後に生じた浸出液産生性浮遊性血腫の一例 (5 分)

神戸大学大学院整形外科 武岡由樹 (たけおかよしき)、由留部崇、劉正夫、平中良明、熊谷直利、黒島康平、松尾智哉、大西洋輝、宮崎邦彦、神田裕太郎、黒田良祐、角谷賢一朗

14:15 ～ 14:35 ミニレクチャー

座長：済生会川口総合病院 整形外科 新井 嘉容

「 様々な髄膜病変の病態と治療 」

演者：東北医科薬科大学 整形外科学 小澤 浩司

14:35 ～ 14:50 休憩

14:50 ～ 15:50 「頸髄症Ⅰ」

座長：名古屋大学大学院医学系研究科 整形外科学 中島 宏彰

7. Overshunting-associated myelopathy の一例 (5分)

済生会川口総合病院整形外科 坂井頭一郎 (さかいけんいちろう)、吉井俊貴、鳥越一郎、友利正樹、榊経平、小沼博明、小林裕、新井嘉容、大川淳

8. 術後早期に Finger trembling の改善を認めた平山病の一例 (5分)

高知大学整形外科¹⁾、高知県立幡多けんみん病院整形外科²⁾ 田所伸朗(たどころのぶあき)^{1) 2)}、橋元球一²⁾、喜安克仁¹⁾、葛西雄介²⁾、青山直樹¹⁾、溝渕周平¹⁾、池内昌彦¹⁾

9. 頸椎椎間板ヘルニアに伴う示指単独の伸展障害を呈した1例 (5分)

済生会中央病院 整形外科 藤井武 (ふじいたけし)、今林英明

10. 頸部脊髄症と誤診されうる両側 C8 神経根症 (6分)

公立学校共済組合東北中央病院整形外科 中村豪 (なかむらたけし)、田中靖久、那波康隆、三宅宏太、金城英傑、吉村広志、椿野巧

11. 頸椎症性脊髄症患者における末梢神経幹電気刺激による 10 秒テストの変化—巧緻運動障害の予後を予測する手法として— (6分)

和歌山県立医科大学 整形外科学講座 村田鎮優(むらたしずまさ)、高見正成、山田宏

12. フレイルは頸椎症性脊髄症の後方除圧術後成績不良因子となり得る (6分)

防衛医科大学校整形外科学講座 北村和也 (きたむらかずや)、梅井敦斗、山口直毅、安田明正、栗田洋平、石坂隆博、中川敬博、千葉一裕

15:50 ～ 16:00 休憩

16:00 ～ 17:00 「頸髄症Ⅱ」

座長：東京医科歯科大学 整形外科 吉井 俊貴

13. 椎体レベルに輝度変化を認める頸髄症における X 線学的検討 (6 分)

和歌山県立医科大学 整形外科科学講座¹⁾、名古屋共立病院脊椎脊髄外科センター²⁾ 神前拓平(こうざきたくへい)¹⁾、湯川泰紹^{1) 2)}、岩崎博¹⁾、筒井俊二¹⁾、高見正成¹⁾、長田圭司¹⁾、石元優々¹⁾、太地良¹⁾、村田鎮優¹⁾、橋爪洋¹⁾、山田宏¹⁾

14. MRI T2 強調矢状断を用いた Segmental modified K-line Interval は頸椎症性脊髄症の後方除圧術後成績予測指標になり得る (6 分)

防衛医科大学校整形外科科学講座 山口直毅(やまぐちなおき)、北村和也、安田明正、梅井敦斗、栗田洋平、石坂隆博、中川敬博、千葉一裕

15. 圧迫性脊髄症に対して両開き式頸椎々弓形成術における椎弓スペーサー固定に長いスクリーューを使用する術式(Tiptoe Technique) (6 分)

社会医療法人北斗 北斗病院 整形外科 関ロイワン(せきぐちいわん)、石田直樹

16. 頸椎症性脊髄症と頸椎後縦靭帯骨化症手術における腹臥位による脊柱管前後径の変化ならびに術中脊髄モニタリング波形低下に関連する手術手技の比較 (6 分)

弘前大学整形外科 和田簡一郎(わだかんいちろう)、熊谷玄太郎、浅利享、新戸部陽士郎、石橋恭之

17. 頸椎後縦靭帯骨化症に対する後方手術施行後長期経過例における手術成績不良因子の探索 (6 分)

国際医療福祉大学医学部整形外科科学教室¹⁾、国際医療福祉大学三田病院 整形外科²⁾、慶應義塾大学医学部整形外科科学教室³⁾、けいゆう病院 整形外科⁴⁾、慶友整形外科病院 整形外科⁵⁾、静岡赤十字病院 整形外科⁶⁾、静岡市立清水病院 整形外科⁷⁾、川崎市立川崎病院 整形外科⁸⁾、埼玉メディカルセンター 整形外科⁹⁾、村山医療センター 整形外科¹⁰⁾ 大伴直央(おおともなお)^{1) 2)}、名越慈人³⁾、山根淳一⁴⁾、河野仁⁵⁾、武田和樹⁶⁾、山本竜也⁶⁾、柴田玲生⁷⁾、西村空也⁸⁾、鎌田泰裕⁹⁾、大門憲史⁹⁾、大久保寿樹¹⁰⁾、小林喜臣¹⁰⁾、松本守雄³⁾、中村雅也³⁾、渡辺航太³⁾

18. 同一椎間に後縦靭帯骨化または椎体骨折を合併した胸椎黄色靭帯骨化症の手術成績 (6 分)

秋田大学医学部附属病院 リハビリテーション科¹⁾、秋田大学大学院医学系研究科 整形外科科学講座²⁾ 粕川雄司(かすかわゆうじ)¹⁾、本郷道生²⁾、工藤大輔¹⁾、木下隼人²⁾、木村竜太²⁾、笠間史仁²⁾、岡本憲人²⁾、宮腰尚久²⁾

閉会の辞 17:00 ~ 17:05

圧迫性脊髄症研究会 代表世話人

東京医科歯科大学 整形外科 大川 淳